

ALL STARS

～自信を持って輝こう～

【三本柱】

「主体性」・「責任感」・「コミュニケーション」

《スローガンに対する想い》

「ALL STARS」というスローガンには、菊水中学校の全校生徒が一人一人がスターとなり、自分の個性を発揮し、輝いていこうという思いが込められています。

しかし、今の菊水中学校の生徒には自ら輝こうとする人が少ないという現状があります。それは、自分に自信がないため、あるいは互いのことをあまり知らないなどの理由で輝くことを恐れているなどの要因があるのではないかと思います。

そのような課題を克服するためには、「互いを尊重し合い、一人一人が輝ける学校」をつくっていく必要があります。そのような学校にしていくためには、互いの個性を認め合うことができ、安心して自分の事を表現できることが必要です。そのことを実現するために、三本柱を「責任感」「主体性」「コミュニケーション」としました。

「ALL STARS」というスローガンのもと、これまでの先輩方が築き上げてこられた素晴らしい伝統を引き継ぎ、菊水中を更に誇れる学校になるように「互いを尊重し合い、一人一人が輝ける学校」をみんなで作っていきましょう。

《三本柱に対する想い》

○責任感

一人一人が責任感を持って活動できるようになると、他の人からの信頼が高まり、そのことが自信につながり、そして輝くことを恐れずに活動できるのではないかと考えます。

そのために、委員会で自分に与えられた仕事をきちんと果たせるように、委員長を中心に活動の充実を図ります。また、責任感はちょっとした行動からもつながってくるため、代議員の「遅刻チェック」や生活安全委員の「靴並べ」などの活動も推進していきます。

このように、委員会活動を中心に一人一人が「責任感」を持てるような雰囲気づくりをしていきます。

○主体性

主体性を高めるためには、当たり前前（あたりまえ）のことにできるようになることが大切です。そのためには、周りのことを見て、周りのことを考えて行動できる力が必要です。多くの人がこのことができるようになると、安心して落ち着いて生活をすることができ、安心して個性を發揮できるようになります。そして、お互いに流されることなく、自分の考えをもって行動できるようになると、互いの力を高め合うことにつながると考えます。

そのために、立ち止まり挨拶、身の回りの整理整頓、意見箱の設置、廊下を走らない、無言清掃の質を高めるための取り組みなどを各委員会と協力をして進めていきます。

○コミュニケーション

安心して個性を發揮するためには、互いの意見を尊重し、互いの意見を認め合うことが大切です。そうすることで、互いに助け合おうとする雰囲気ができ、一人一人が自分自身の考えに自信をもつことにつながります。そして、そのことが一人一人が安心して自分を輝かせることができることにつながるのではないのでしょうか。

そのために、全員ゴールを充実させたり、行事や集会で感想交流をしたり、給食委員会の取り組みである「交流給食」や集会時のレクレーションなどの縦割りの活動を充実させていきます。